

いわた羅針盤

ら しん ばん

No.57

2016.09.01発行

特集

スポーツ選手に聞く

ジュビロ磐田

志村 滉 選手

上原 力也 選手

ヤマハ発動機ジュビロ

加藤 圭太 選手

井本 克典 選手



CONTENTS

- P2 特集 スポーツ選手に聞く
- P4 6月定例会議案審議
- P6 委員会審査
- P8 一般質問(11人)
- P14 トピックス
- インフォメーション
- P16 審議結果 ほか

磐田市が誇るスポーツチーム、ジュビロ磐田（サッカー）とヤマハ発動機ジュビロ（ラグビー）の計4選手に、磐田市への期待や市議会の印象など、いろいろなお話を伺いました。



ジュビロ磐田

志村 滉 選手

上原 力也 選手



(左) 上原 力也(うえはら・りきや) MF 1996年8月25日生まれ。静岡県出身。174センチ・64キロ。ジュビロ磐田U-18から昨季加入。層が厚い中盤でレギュラー獲得を目指す。
(右) 志村 滉(しむら・こう) GK 1996年4月27日生まれ。千葉県出身。186センチ・71キロ。市立船橋高校から昨季加入。6月11日FC東京戦でJ1リーグデビュー。



——サッカーを始めたきっかけは？
志村 幼稚園のサッカークラブのコーチに熱心に誘われました。今でもそのクラブには顔を出します。



上原 草サッカーをする父親に影響されて、小学校2年生からサッカーを始めた。

——ジュビロ磐田はどのような雰囲気ของทีมですか？

志村 チームワークがよく、温かいチームだと思います。一つの輪になっていますよ。

上原 家族のようなチームで、監督やベテランの選手も大変話しやすい環境をつくってくれます。

「磐田市は緑が多く

リラックスできます」(志村)

「議会の情報を気軽に見ることができれば」(上原)

——磐田市の印象を教えてください。

志村 車がないと大変ですね。でも、

緑が多くリラックスでき、空気もいいです。

上原 良いまちですね。遠州弁にはまだ慣れませんが(笑)。市民の方も声を掛けてくれて、すごく温かい人が多いです。

——磐田市にこんな場所があったらいいなと思うのは。

志村 現状で十分満足しています。ただ、きれいな夜景のスポットがあるといいですね。

上原 若い人たちが集まるような場所が少ないかな？

——市議会に対してどのようなイメージを持っていますか？

志村 難しいイメージがあります。まだ知らないことが多いです。

上原 議会の情報などを気軽に見ることができればいいなと思います。

——今後の抱負をお聞かせください。

志村 J-1残留という目標に向け、練習から気合を入れてやっていきます。これからも試合に出続けられるよう努力していきたいです。街中でジュビロを応援してくださっているので、それに応えられるように頑張ります。

上原 もっと練習して、試合に絡んでいけるように努力していきます。温かく応援していただいているので、喜んでいただけるよう頑張ります。



ヤマハ発動機ジュビロ

加藤 圭太 選手

井本 克典 選手



(左)井本 克典(いもと・かつのり) SO/CTB 1986年8月25日生まれ。宮崎県出身。174センチ・85キロ。今年で入団9年目を迎える。力強い突進力が武器のバックス。

(右)加藤 圭太(かとう・けいた) HO 1983年10月9日生まれ。山梨県出身。175センチ・96キロ。昨年トップリーグで49人目となるリーグ戦通算100試合出場を達成。

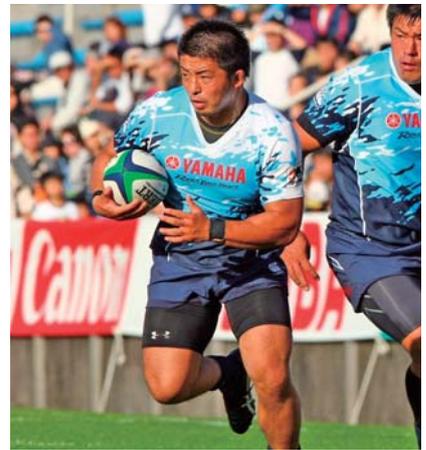
特集 スポーツ選手に聞く

—ラグビーを始めたきっかけは？

加藤 中学からラグビーを始めました。元々はバスケット部で、冬場の体力づくりとして、仲間とラグビーを始めたのがきっかけです。

井本 小学生の時に、ラグビーをプレーしていた父にラグビースクールに連れていってもらったのがきっかけです。

—磐田市の印象を教えてください。
加藤 僕には子どもが3人いますが、山もあり海も近く、子どもと遊ぶのに最高の環境です。高速道路やバイパスなど交通アクセスが充実している点も気に入っています。



井本 まち全体が落ち着いていますよね。実家がある宮崎県延岡市に似ているので、僕に安心感を与えてくれています。

「子どもたちが安全に暮らせるよう高い意識を持った磐田市に」(井本)

「もっと議会が身近に感じられるといいですね」(加藤)

—どのようなまちづくりを期待しますか？

加藤 子どもたちが伸び伸びと育つまち、日本で最も子どもを育てやすい市と言われるようになってほしいですね。僕も親として、協力していきたいと思っています。

井本 ラグビーの普及活動などで子どもたちと触れ合う機会があります。子どもたちが安全に暮らせるように、大

人たちが高い意識を持った磐田市に期待しています。

—市議会に対してどんなイメージを持っていますか？

加藤 もっと市議会が身近に感じられるといいですね。活動を伝えるツールを持っている議員が増えると良いです。

井本 磐田市民のために忙しくされている印象があります。

—今後の抱負をお聞かせください。

加藤 昨シーズンにトップリーグ出場100試合を達成しました。皆さまの応援に感謝しています。今年も自分らしさをピッチで表現し、優勝の報告が再びできるように頑張ります。

井本 まずは、レギュラーのポジションをしっかり和掴みたいと思います。センターという攻守の要のポジションですので、ヤマハには良い選手が集まっています。その激戦区に挑みます。



平成28年
6月
定例会

議案審議

会期 6月13日～7月6日(24日間)

6月定例会では、市長提出の平成28年度一般会計補正予算や家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正など一般議案6件、人権擁護委員会にかかる人事議案1件のほか、所得税法第56条廃止を求める意見書提出を求める請願1件を審議しました。

今回は、その中から主な内容をお知らせします。
なお、全ての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

6月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信

検索
クリック



©磐田市

議案
第64号

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を一部改正

全会一致で
可決

保育士不足解消のため保育士の配置に係る国の基準が改正されたことに伴い、市が事業認可を行う小規模保育事業所A型における保育士の数の算定について特例を追加するなどの改正をしました。

改正の主な内容

●小規模保育事業所（A型・B型）及び事業所内保育事業所において勤務する准看護師を、1人に限り保育士とみなすことができるようになります。

●小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所においては、幼稚園教諭、小学校教諭などの普通免許状を有するものを保育士とみなすことができるようになります。

本会議での主な質疑

問 国が基準を改正した理由は。

答 保育士確保は喫緊の課題である。このため、保育士が行う業務についての配置要件を柔軟化し、保育の担い手の裾野を広げるとともに、保育士の勤務環境の改善をしていく必要がある。改正に至ったとされる。

問 正看護師と准看護師の違いは何か。

答 国家資格（正看護師）と公的資格（准看護師）、准看護師は医師等の指示により看護を行うという違いはあるが、保育現場では看護師と同様に子どもたちに接することができる。

問 幼稚園教諭等の免許を有する者を保育士とみなす理由は。

答 乳幼児期の子どもたちの成長を支える人材の要件を一時的に広めるものである。それぞれが持つ知識や経験を生かし、保育に従事できるものと考えられる。



小規模保育事業所 ひよこ保育園

議案
第67号

下水道事業に係る技術的援助に関する 協定を日本下水道事業団と締結

全会一致で
可決

下水道事業の地方公営企業法適用化に係る支援業務を委託するための協定を日本下水道事業団と締結します。協定金額は1億6144万円です。

協定の主な内容

●本協定は地方公営企業法の適用に向けた固定資産の調査及び評価、公営企業会計システムの構築、条例や規則等の制定及び改正をはじめとする事務手続き等の支援業務を委託するものです。

●協定期間である28年度から30年度までの3年間に移行事務を進め、31年4月1日からの地方公営企業法の適用を目指します。



磐南浄化センター

本会議での主な質疑

問 日本下水道事業団を選定した理由は。

答 日本下水道事業団は地方公共団体の要請に基づき、下水道の業務を行うことが法律上規定されている唯一の団体である。経験や専門的知識を持つ事業団と緊密に連携し、より確実な法適化への移行を実現させるため選定した。

問 県内他市の地方公営企業法適用状況は。

答 静岡市、熱海市、浜松市、沼津市、富士市の5市が適用済みである。27年10月時点の状況では、1市が29年度から、5市町が30年度から、静岡県と本市を含む11の県市町が31年度から、6市町が32年度から、公営企業会計へ移行する予定で、現在準備作業に入っている。

請願
第4号

所得税法第56条の廃止を求める 意見書提出を求める請願

賛成少数で
不採択

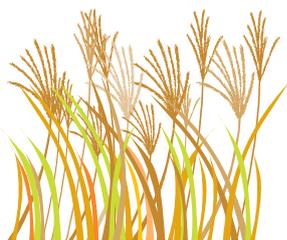
「所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願」については、賛成少数のため採択せず、意見書の提出は行わないこととしました。

請願者 磐田民主商工会婦人部

部長 渡辺尚美さん

請願の趣旨

所得税法56条は自家労賃を必要経費として認めてなく、家族従業員は社会的・経済的にも自立できない。国連女性差別撤廃委員会も日本政府に所得税法見直し検討を求める勧告をした。家族従業員の人権保障の基礎をつくるため、所得税法第56条の廃止が必要であり、国に対し意見書を提出してほしい。



討論がありました

反対 57条を含めた検討が必要

56条の廃止だけでは所得分割の防止機能が失われ、納税の公平性が損なわれる。57条を含めた検討が必要である。事業主等の社会的、経済的自立を図るなら青色申告に誘導すべきである。国でも、税制全体の検討をしており、経緯を見守りたい。

志政会 高田正人 議員

賛成 制度自体が矛盾している

56条による家族従業員への不利益には、所得証明が取れないことや事故にあった場合の休業補償額が低いことなどがある。青色申告にすれば給与を経費にできるが、同じ労働に対して申告の種類で差を設ける制度自体が矛盾している。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

予算決算委員会

■委員長：小野泰弘 ■委員：議長を除く全議員
■副委員長：高梨俊弘



赤シソ塩蔵加工施設

28年度一般会計補正予算 (第1号)

【歳出2款 総務費】

問 照明灯LED化事業の設置場所、台数は。

答 これは、株式会社ニッパからの寄付金を活用した事業である。同会社から20年前に寄贈いただいた防犯灯5灯が老朽化していることから、LED化を含め修繕を行ってほしいとの要望に応えるものである。

【歳出6款 農林水産業費】

問 産地パワーアップ事業費補助金の内容は。

答 豊岡地区における赤シソ産地を採択し、内容は塩蔵加

工施設の改修及び設備の更新に対する補助である。申請者は遠州中央農協で、契約農家は20名、施設で働いている人は16名である。事業における3年後の成果目標は販売額のおおむね30%増としている。赤シソの塩蔵加工はふりかけのもとになっており、一定水準の需要を見込んでいます。

【歳出10款 教育費】

問 コンピューター教育推進事業の内容は。

答 寄付をいただいた日東工業株式会社から教育振興のために使用してほしいとの要望があり、電子黒板機能付きのプロジェクトアが適切であると判断した。現在、可動式の電子黒板は、小中学校に各一台ずつ配置しているが、小学校では特に理科の授業で使用している学校が非常に多いことから、今回の補正予算により、理科室が2部屋ある磐田北小、磐田中部小、東部小、福田小の4校に配置する。中学校は全10校に配置する予定である。

総務委員会

■委員長：山田安邦 ■委員：虫生時彦、絹村和弘、寺田幹根
■副委員長：高田正人 鈴木喜文、川崎和子、高梨俊弘

所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願

問 なぜ56条の廃止のみを求めるのか。

答 われわれの趣旨は一貫して家族従業者の所得を認めてほしいということであり、過去と同様の内容とした。

問 ささまざまな就労形態があるにもかかわらず、女性差別撤廃を求めるのはなぜか。

答 請願は多数の女性家族労働者の視点に立ったものである。しかし、男性の家族労働者も所得を明確にする必要があるなど、共通の部分がある。

問 青色申告移行の考えは。

答 複式簿記等を勉強する必要がある、高齢者や時間が少ない人は簡単に移行できない。

―議員問討議での主な意見―

●青色申告と白色申告を選択できる制度になっているにもかかわらず、それをもって女性差別と言えないのでは。

●実態にあった所得税法の見直しの検討がされるべきと考

えるが、56条の廃止のみで決できるとは思わない。

●国際的には家族経営の労働が認められているが、日本は認められていない。よって国際的にも所得税法の見直しが必要と勧告されているのでは。

財産の取得（災害対応特殊化学消防ポンプ車）

問 購入する車両と現在配備されている車両との違いは。

答 隊員の活動がしやすくなるよう室内を広くしている。また、4輪駆動車にするとも、長距離走行にも耐える車両としている。

問 国の補助は。

答 緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用し、補助額は1569万9千円を予定している。



消防化学ポンプ自動車

民生教育委員会

■委員長：加藤文重
■副委員長：草地博昭

■委員：芦川和美、太田佳孝、松野正比呂
根津康広、岡寛、鈴木昭二(欠席)

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 准看護師が追加となることで、何が期待されるのか。

答 本市では保健師や看護師をみなしとして配置しているところはないが、必要となった場合の人員確保がスムーズになり、保育士業務の改善にもつながることが期待される。

問 保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者とはどのような者か。

答 子育て支援員研修を受講し、修了した者である。この資格は県が認定し、全国で通用するものである。

問 本市の職員配置基準は国基準以上と言うが、国基準以上とはどういうことか。

答 国基準の必要数よりも多い保育士の有資格者を配置しているということである。保育士の配置は十分できているため、特例的な運用を行う状況にはなっていない。

問 保育士の有効求人倍率は

年々高くなってきているが、その背景をどう考えるか。

答 保育ニーズが年々増加してきていることが一番の要因である。特に年齢が低い子どもを保育園に預けたいという方が多く、そのため保育士の数もより多く必要となり、各事業所でも今まで以上に多く求人を出すことになる。

賛成討論

保育士確保のためには、保育士の労働条件を改善していく必要がある。保育士の専門性にふさわしい処遇にしていくことを国に求めていくべきである。また、自治体みずからも努力していくべきであると考え、後退することなく、さらに国基準以上の保育環境の整備をすべきである。



保育の様子

建設産業委員会

■委員長：寺田辰蔵
■副委員長：芥川栄人

■委員：細谷修司、八木正弘、稲垣あや子
小野泰弘、川村孝好、増田暢之

下水道事業に係る技術的援助（地方公営企業法適用化支援業務）に関する協定の締結

問 日本下水道事業団の組織体制は。

答 国土交通省や県・政令市の職員、プロパーの技術者や事務職が集まり、必要な自治体を支援している。事業団の技術職員数は27年4月現在で530名である。

問 協定額の内訳の説明を。

答 35年間蓄積された工事設計書や決算書、その他各種書類を収集・整理して台帳づくりを行う固定資産調査が主な作業であり、協定額全体の約7割を占める。それ以外は、台帳をもとにした資産評価や、それに伴うシステム整備などの技術的援助である。実際の作業は民間の事業体で行うため、3社から見積もりを徴し、精査したうえで金額を出している。金額は、先進地事例と比べてみても妥当なもの判断している。

問 本市職員の人材育成の考えは。

答 企業会計を導入した場合、会計知識だけでなく経営的な感覚を持った職員を育てる必要があるため、事業団からの派遣や公認会計士等による研修を実施していく。また、現在担当している職員は簿記の資格も取得するよう一生懸命勉強している。

問 国からの支援は。

答 指定期間である27年度から31年度に公営企業会計に移行した場合は、公営企業会計の適用に要する経費が公営企業債の対象となる。また、償還期間は10年となるが、償還額の2分の1が交付税措置される。今回の協定額も全額対象となる。



下水処理場の運転監視の様子

一 般 質 問

要
旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

6月定例会では11人の議員が一般質問を行いましたので、主な内容をお知らせします。

一般質問の様子は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信

クリック

検 索

行財政改革・公共施設等総合管理計画 公園の整備

一 問
一 答

新磐田 松野正比呂 議員



行財政改革・公共施設

問 29年度以降の行財政改革への取り組み構想は。

答 行革の実施により生まれたい資源を活用し、住んでよかったと実感できるまちづくりを進めるため、今後も市民と協働して取り組む必要がある。第2次行財政改革大綱実施計画の成果を踏まえ、必要となる項目を絞り込んで、引き続き取り組んでいきたい。

問 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設等の保全・更新計画の落とし込みは。

答 他市の事例や状況を調査するとともに施設ごとに研究していききたい。公会計制度の導入により、全体的なランニングコストが把握できるようになるため、それも踏まえて取り組みたい。

問 計画の周知方法を伺う。

答 ホームページや広報いたへの掲載、市政懇談会などで周知を図る。

公園整備

問 遠江国分寺史跡など市街

地の公園整備構想は。

答 重要な観光資源と認識しており、今後もまち美化パートナーや愛護会の協力による公園美化を進め、多くの人が憩い集うことができる公園を目指していきたい。

問 敷地地区全体の里山構想を検討しては。

答 獅子ヶ鼻トレッキングコースを中心に地域活性化につながる活動を地元住民や企業と連携して行いたい。20年度に地区で策定した構想があるため、現段階では新たな構想を策定する考えはない。



獅子ヶ鼻トレッキングコース

問 協働による公園の維持管理についての考えは。

答 まち美化パートナーや愛護会との協働による修繕や維持管理を行っており、今後も継続したい。

磐田市の諸課題

問
答



岡 議員 志政会

問 オール磐田の考えの中で、商工会議所や商工会との連携・支援の状況等は。

答 企業訪問によりニーズ把握に努め、求人相談などに対しては、連携して就職フェア等のイベントを紹介している。課題は、販路拡大等の要望に対しマッチングコーディネーターがいらないこと等である。そのため、さらに県などとも連携し、企業の課題解決の支援に取り組んでいきたい。

問 中心市街地の活性化等の新たな考え方は。

答 現在事業を検証しているが、簡単に答えは出ない。今後は、予定している空き店舗や通行量などの調査結果も踏まえ、民間が主体となりエリア価値を高めていく手法など、全国の事例も研究しながら、地元関係団体等とともに検討していきたい。

問 新産業振興計画の商工会議所や商工会との関わり、策定の考え方や進め方は。

答 魅力産業支援会議で商工会議所や商工会から積極的に意見をいただく予定である。

スケジュールは7月に第1回の会議を開催し、年度内に公表する予定である。なお、計画の素案は職員が作成する。

問 埋蔵文化財センターや歴史文書館などの収蔵施設として、公共施設の空きスペースを有効活用する方策は。

答 今後も資料の増加が見込まれるため、公共施設の見直しの中で、利用可能な施設の確保と活用を努めていく。



埋蔵文化財センター

問 電子公文書の管理は。

答 文書管理システムは27年度から稼働し、31年度以降に初めて電子公文書が歴史文書館に移管される。28年度に移管方法を調整し、移管する3年後までにはスムーズな移管ができるようにしたい。

多様性社会（LGBT）対応 ペットも安心して暮らせるまち／体力・健康等の諸課題

括
問
質



新磐田 芥川 栄 議員

多様性社会

問 多様性社会（LGBT）への基本的な考え方は。

答 人権問題の一つとして捉え、広く人権意識を高めるための取り組みの中で対応していくべきと認識している。

問 市民、企業、病院、市職員への啓発は。

答 広く人権意識を高めていくための啓発の中で、少しずつでも理解が深まっていくように努めていきたい。

ペット

問 狂犬病予防注射の接種率と接種率向上策は。

答 27年度末の接種率は86.2%である。接種を呼びかける案内の送付や広報誌への掲載、市内60カ所を巡回する集合注射を実施している。

問 犬や猫の殺処分を防ぐ方策は。

答 市では保護した迷い犬の飼い主が見つからなかった場合、動物ボランティアの協力のもと、新たな飼い主を探している。27年度は迷い犬30頭

のうち、飼い主への返還が22頭、動物ボランティアへの引き取りが8頭で、殺処分された犬はいない。

問 災害時におけるペット避難の啓発と避難所でのペットアレルギー対策を伺う。

答 ペット同行避難訓練の実施や、広報いわたでペットの防災用品等を掲載するなど啓発に努めている。アレルギー対策としては、各指定避難所でペットの飼育場所を決めるよう働きかけており、できるだけ居室から離れた場所を選定するようお願いしている。

体力・健康

問 グランドゴルフ大会に三世代部門を加えることは。

答 世代間の交流も期待できるが、体育協会等と検討、協議を重ねていきたい。



グラウンドゴルフ大会

高齢者が安心して暮らせる磐田市 多文化共生を活かしたまちづくり

一問
一答



新磐田 川崎和子 議員

高齢者

問 10年後の高齢化の見込みと対応、課題について伺う。

答 高齢化率は30%を超える。高齢者のひとり暮らし等が増え、支援が必要な方を地域で見守る体制づくりがますます必要となる。地域包括ケアシステム構築に必要な人材の育成が大きな課題である。

問 特別養護老人ホームの待機状況と新設の予定を伺う。

答 待機者は27年度比33人減の320人である。ベッド数を40床増設し、29年度から入居できるよう準備している。

問 介護予防・日常生活支援総合事業の利用概要は。

答 介護予防訪問介護・通所介護が新総合事業に移行する。チェックリストを活用した申請により対象者を把握し、その人に適したサービスが受けられるよう検討している。

多文化共生

問 外国人児童の日本語初期支援教室NIJJI及び特別支援学級の現状は。

答 NIJJIは17名を受け入れるため教室を増設し、磐田

中部小と磐田第一中の2教室で支援員等を増員し運営している。特別支援学級は、外国人児童の入級者が増加している。今後も学習支援等を的確に行えるよう努めていく。



日本語初期支援教室NIJJI

問 市立総合病院の通訳の現状と課題を伺う。

答 2人で月約250件に対応している。大半がポルトガル語通訳で、主な内容は外来診察等である。通訳者同伴が原則だが、通訳の要請が非常に多いこと等が課題である。

問 外国人が気軽に相談や交流ができるワンストップセンター設置の考えは。

答 現時点で設置の考えはないが、拠点が必要との認識はしている。

男女共同参画の推進 幼稚園・保育園再編計画

一問
一答



日本共産党磐田市議員 稲垣あや子 議員

男女共同参画

問 「ともりあ」無人化に至った経緯は。また、男女共同参画プランの最終年度に無人化してよかったのか。

答 啓発の成果が上がらず、次期プラン作成と並行してセンター事業を見直した。常駐職員はいないが、目的、機能等は変わらず、事業の多くは継続しており影響はない。

問 市職員の管理監督職及び審議会等委員の女性割合について、プランの後期目標値に対する現状と評価は。

答 管理監督職は目標値30%に対して19・8%で少しずつ伸びている。審議会等委員は目標値40%に対して25・8%で伸びない現状がある。

問 次期プランの自営業等における女性の地位向上に、所得税法の見直しも含めるべきと考えるが、見解は。

答 所得税法は市の所管ではないため考えていない。

幼稚園・保育園

問 磐田北幼稚園再築スケ

ジュール・設計・跡地利用は。

答 磐田北小敷地内のグラウンド北側へ園舎を配置する。28年7月から北小プールの解体工事、11月から園舎の建築工事を始める。跡地は近隣公共施設の駐車場に利用したい。



磐田北幼稚園

問 磐田中部幼稚園再築基本構想の具体的内容は。

答 園舎の老朽化、敷地面積、同なかいずみ学府内の磐田西幼稚園の将来像などを考慮し、28年度に策定する。

問 竜洋西と北保育園の統合、さらに新保育園と竜洋幼稚園との再編の検討とある。400人以上の大規模園となり問題と考えるが、見解は。

答 28年度に策定予定の第2期幼稚園・保育園再編計画で、保育や教育の環境面も考慮し、方向性を示していく。

熊本地震を教訓に地震防災対策強化を (仮称) 子ども図書館

問
答



日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

地震防災対策

問 熊本地震職員派遣先の被災状況と課題、教訓は。

答 嘉島町の被害状況は、死亡3名、災害関連死1名、家屋全壊272棟、大規模半壊63棟、半壊269棟、一部損壊1848棟、避難者336名である。課題は日ごろの備えや円滑な避難所運営が考えられる。これらを教訓とし、耐震対策の推進や地域一体の避難所運営体制づくりを進めている。

問 本市の応急仮設住宅の建設用地の把握や配置計画は。

答 必要戸数は市が所有する施設で確保できる見込みである。仮設住宅等の配置計画は28年度末までに約7割を作成予定である。

問 応急食料給与において、避難所の学校給食室の活用と、学校給食センターの協力は。

答 可能ならば、施設や調理器具等を有効活用する。学校給食センターは委託契約で、炊き出しや食料供給等に協力することになっている。

子ども図書館

問 設置及び豊田図書館を選定した経緯は。

答 子どもの読書活動推進及び子育て世代の保護者の相談拠点をあわせ持つ施設を設置し、子どもと保護者の支援を行うため、関連部署と連携し検討を始めた。豊田図書館は児童書貸出が多く、アクセスに優れ、複合施設となる規模であるため選定した。

問 基本構想策定方法とスケジュールについて伺う。

答 公募型プロポーザルで事業者を決定し、29年2月末を目標に策定を進める。

問 住民の意見も聞き、他の施設も検討すべきでは。

答 豊田図書館以外は、現時点では考えていない。



豊田図書館

教育新時代に向かう「磐田の教育」の振興

括
問



志政会 絹村和弘 議員

問 社会環境の悪化は、大人に対し知力と倫理力のアンバランスによる不祥事を多発させているが、教育現場における子どもへの影響は。

答 本市においても、子どもたちに悪い影響を及ぼしている事例が若干ある。一人一人の状況を踏まえ、丁寧に対応していきたい。

問 不登校児童生徒数は増加傾向である。市教育支援センター「あすなる」での対応効果、課題を伺う。

答 生活の自立や学習への意欲化等を促すための助言、相談を行い、学校復帰を目指している。27年度入級児童生徒38人のうち17人が学校へ一部復帰するなど、大きな成果を上げている。課題は児童生徒数増による指導員不足である。

問 不登校の予防的取り組みを伺う。

答 子どもとのきずなと、学校等の一員である意識が持てるような子どもの居場所づくりが、不登校の未然防止につながるかと考える。

問 旧豊岡東小を野外活動センターに転換してはどうか。

答 施設の安全性や維持管理等の課題がある。地元の意見も参考に、関係部署と連携して可能性を探りたい。

問 兎山公園を、自然の中で屋外体験活動を通じて心身を育む「磐田版森のようちえん」に活用してはどうか。

答 現在も自然体験の場の一つであり、引き続き園児の多様な体験や学びの場として活用していきたい。



兎山公園

問 心の教育・徳育についての考え方、方向性を伺う。

答 心を大切にした人間教育を基軸とする教育活動を展開している。命を大切にしながら教育を展開し、たくましく生きていく力を育てたい。

小中一貫校構想 浜岡原発の諸問題

問
答



日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

小中一貫校

問 小中一貫校構想も財源対策として位置づけられていると考えるが、見解は。

答 財源等を考えていくことは大事であり、基本構想を策定する中で具体化が進むと考える。しかし、これからの子どもたちのために推進することを第一に考えていきたい。

問 一校によってマンモス校となり、一人一人にきめ細やかな指導ができなくなると考えるが見解を伺う。

答 経験上、決してそうではない。35人学級をいち早く進めてきたので、規模の大きな学校でもきめ細やかな指導ができていると考えている。

問 豊田中学校区は5年後に小中一貫校として建設完了を目指す方針だが、先に結論ありきではないか。

答 5年後に建設が完了するのではなく、校舎を建設する場合、一般的に5年かかることを説明している。

問 学校は地域の核であり、豊田北部小がなくなる是非を

考えるべきだが、見解は。

答 地域から学校がなくなるということではなく、学府一校という新たな学校ができるということである。



浜岡原子力発電所

問 県の広域避難計画が示されたが、実効性に乏しいと考える。見解は。

答 県の計画は広域避難に係る基本的な事項を示したもので、計画策定後も実効性を高めるために関係機関との調整が必要であると考える。

問 再稼働の同意を事前了解に含めるべきでは。

答 安全協定は、浜岡原発周辺地域の安全確保を目的とするもので、再稼働の同意については、別の場で協議されるものと認識している。

まちづくり ひとつづくり

括
問
質



新磐田 寺田辰蔵 議員

まちづくり

問 公共施設へのPPP・PF1活用は。また新市民文化会館へPF1活用の考えは。

答 個々の施設の適切な方法を検討し、活用していきたい。新市民文化会館は老朽化等への対応、交付税措置がある合併特例債の活用等のため早期建設を目指している。よって、長い工程が必要なPF1の導入は考えていない。

問 安全で安定した収量が見込める陸上養殖事業の取り組みと誘致の考えは。

答 誘致に向けた研究を進めているが、事業の採算性など難しい課題があり、企業の進出は容易ではない。引き続き情報収集を行い、誘致の可能性を探っていききたい。

問 市内経済の活性化等が期待されるウルトラファインバブルについて見解を伺う。

答 大学や企業から情報収集しているが、実用化には至っていない。今後も技術動向を把握し、注目していきたい。

ひとつづくり

問 学校運営のリスク管理について、学校運営協議会の対応、役割は。

答 校内外の安全に関する意見等も出され、対応策を検討している。協議会に子ども見守り隊が入るなど、地域と連携している事例もある。



学校運営協議会の子ども見守り隊

問 教員の多忙化解消のため、事務処理業務のすみ分けや分業を図る考えは。

答 多忙化解消のためには、教員個々が心理的ゆとりを持つことが大切であり、新しく心理的ゆとりについての実態調査も実施していきたい。また、教員の仕事の中心は子どもと向き合うことであり、教職員の書類作成等事務処理のすみ分けは、多忙化解消に一石を投じることができる。

防災について スポーツの環境について

問
答



議員 太田佳孝 会 ぎずなの

防 災

問 市役所本庁舎・支所、指定避難所、市立病院の耐震性を伺う。

答 豊岡支所は耐震性がやや劣る建物と判定されているが、その他の本庁舎等は耐震性の基準を満たしている。現在工程表は示せないが、豊岡支所は公共施設等総合管理計画の基本的な方針に基づき、全庁的な視点から対応を考え、早急に方向性を決めたい。

問 本市が被災した場合の罹災証明の手續きの想定は。

答 家屋被害が発生した場合、被害認定調査を実施する。その後の罹災証明の発行は窓口を一箇所とし、調査終了した家屋から被災者の申請により交付する。調査完了や手續開始時期は想定できないが、速やかな発行に努めたい。

ス ポー ツ

問 中学部活指導の民間事業者委託等による教員負担の軽減と生徒の技術向上は。

答 民間事業者への委託は、

教員の負担軽減と生徒への専門的技術指導から好評と聞いているが、コストや生徒指導面には課題があり、さらに研究したい。28年度より、スポーツ部活支援のため、地域人材の登録人数や指導回数を拡大し、教員の負担軽減と指導体制の充実を図っている。また、複数の中学校を巡回し支援を行う部活動支援員の派遣を今後実施する予定である。

問 高校でも野球を続けるきっかけとして、中学生を国際親善大会へ派遣する考えは。

答 現段階では考えていないが、市内で機運が高まれば、相談に乗りたい。著名な指導者によるスポーツ教室開催や指導者研修による指導力向上等で生徒のモチベーション維持・高揚に努めたい。



中学校野球部大会の様子

安心・安全なまちづくり くらしやすいまちづくり 行政関連課題

括
問



議員 小野泰弘 党公明

安 心 ・ 安 全 な ま ち

問 家庭内防災対策事業は内容を直直し、さらなる拡充、啓発が必要だが考えは。

答 住宅耐震化事業や家具固定推進事業等の普及啓発を引き続き進める。また、補助対象に耐震シェルターを加える等の見直しを検討している。

問 振り込み詐欺対策ポップアップシール配布状況と迷惑電話チャッカーの導入は。

答 ポップアップシールは出前講座等での啓発とあわせ28年度より配付している。迷惑電話チャッカーは、まずは県警や他自治体等の情報を収集し、効果を検証したい。

く ら し や す い ま ち

問 多子世帯に対するさらなる経済的支援の検討は。

答 実現可能な支援策を協議している。広域で連携した対応を模索し、持続可能かつ効果的な策を考えたい。

問 子どもの貧困の実態把握と就学援助制度をクラブ活動費まで拡充する考えは。

答 子どもの貧困の実態把握はしていないが、28年度に児童扶養手当受給者を対象にアンケート調査を行いたい。就学援助制度は、今後、支給額などを検討していきたい。

行 政 課 題

問 祖父母による孫育てを支援する取り組みを伺う。

答 講座の開催等により、親世代と一層協力して子育てができる支援を検討したい。

問 老人クラブへの支援等と地域づくり協議会での老人クラブの方向性を伺う。

答 活動費の補助等による活動支援を継続的に行っている。会員は地域づくり協議会の活動で貴重な人材であり、重要な役割を担っていただけるよう、全力で支援したい。



老人クラブ活動の様子

6/8 ジュビロ磐田 交流サッカー大会に参加

ジュビロ磐田交流サッカー大会がヤマハスタジアムで開催され、スポーツ振興議員連盟が参加しました。ジュビロスタッフや市体育協会等の参加者と、全力プレーで交流を深めました。



7/23 “友好都市” 岡山県玉野市を訪問

友好都市提携を締結した岡山県玉野市を正副議長及び各会派代表者が訪問しました。当日は、玉野市議会議員との交流やイベントの視察等を通じて相互理解を図りました。



7/25 建設産業委員会が 関係団体と意見交換

建設産業委員会は所管事務調査として磐田市商工会及びハローワーク磐田との懇談会を開催しました。委員会の取り組みを報告するとともに、市内中小企業の現状や雇用情勢について意見交換しました。



8/2 ～ようこそ磐田市へ～ 行政視察受け入れ

山形県鶴岡市議会広報広聴委員会が本市議会の広報広聴の取り組みについて視察に訪れました。視察では、広報広聴副委員長及び事務局が説明を行うとともに、質疑応答や意見交換を行いました。



8/9・10 第2次磐田市総合計画 特別委員会を開催

市議会は、磐田市総合計画特別委員会分科会（総務・民生教育・建設産業）をそれぞれ開催し、第2次磐田市総合計画の基本構想（案）、基本計画（案）について市当局の説明を受けるとともに、質疑応答、委員間協議を行いました。今後、各分科会の意見をとりまとめ、市長に提言を行う予定です。



議会報告会を開催します

市民に開かれた議会をめざし、議会報告会を開催します。どの会場にもご参加いただけますので、どうぞお気軽にお越しください。

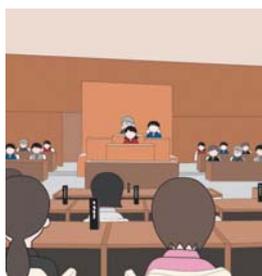


開催日 平成28年10月29日（土）

会場	時間	内容	担当委員会
岩田交流センター 大会議室 (匂坂上615-1)	10:00～11:30	1 議会報告 ①決算 ②市の財政について ③公共施設管理について 2 意見交換	総務
福田中央交流センター 大会議室 (福田1587-1)	14:00～15:30	1 議会報告 ①決算 ②中小企業及び小規模企業の振興について 2 意見交換	建設 産業
ワークピア磐田 視聴覚室 (見付2989-3)	19:00～20:30	1 議会報告 ①決算 ②子育て支援・教育について 2 意見交換	民生 教育

議会を傍聴しませんか

本会議・委員会等は当日の受付で傍聴できます。5階の議会事務局までお越しください。議会を身近に知るためにも傍聴されてみてはいかがでしょうか。



議会をインターネットで見ることができます

インターネットを通じて、本会議、予算決算委員会の模様を生中継・録画配信しています。ご自宅のパソコンで視聴できますので、ご利用ください。



議会にご意見をお寄せください

市民の皆様の声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



議会フェイスブックで情報をお届けします

市議会をより身近に感じていただくため、フェイスブックページで議会情報をお届けしています。ぜひ、アクセスしてください。



<https://www.facebook.com/iwata.gikai>

審議結果

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 28年度一般会計補正予算（第1号）
- (2) 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- (3) 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (4) 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- (5) 財産の取得
- (6) 下水道事業に係る技術的援助に関する協定の締結
- (7) 人権擁護委員の候補者推薦の同意

■賛成少数により不採択となった請願

- (1) 所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願
賛成3（共）／反対20（志・新・き・公）／欠席1（志）

■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡地方税滞納整理機構議会議員の選挙
- (2) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

■その他

- (1) 閉会中の継続審査
- (2) 市議会議員の派遣

会派名の表記（人数）※28年7月6日現在
「志」志政会（10）、「新」新磐田（7）、
「共」日本共産党磐田市議団（3）、
「き」きずなの会（3）、「公」公明党磐田（2）
（注）議長は採決に加われません。

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
9/4	5	6	7	8	9	10
			本議会 (先議ほか)	本議会 (議案上程)		
11	12	13	14	15	16	17
				本議会 (先議採決：一般質問)		
18	19	20	21	22	23	24
		本議会 (一般質問)	本議会 (議案質疑)		本議会 (議案質疑)	
25	26	27	28	29	30	10/1
	予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)					
2	3	4	5	6	7	8
	予算決算委員会 (採決)					
9	10	11	12	13	14	15
		本議会 (採決)				

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。また、聴覚障害者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845）までお問い合わせください。

市議会だよりを リニューアル しました!



今号から「市議会だより」を全面リニューアルしました。

全ページフルカラーとしたほか、特集ページや委員会での審査の内容、定例会以外の議会活動の記事を新しく掲載しました。

ぜひ、新しくなった「市議会だより」をご覧ください。感想、ご意見をお寄せください。

新しい名称は

いわた羅針盤

らしんばん

に決定!

リニューアルに伴い募集していました議会だよりの新しい名称（愛称）ですが、全国から146点のご応募をいただきました。ご応募くださいました皆さまありがとうございました。

広報広聴委員会で選考した結果、議会だよりが磐田市の将来の展望や方向性を示す羅針盤として最新の情報を伝える広報誌となるよう、「いわた羅針盤（らしんばん）」と決定しました。

新しい名称

「いわた羅針盤（らしんばん）」

作品応募者

高橋靖行さん（磐田市中泉）

応募者より一言

いわた羅針盤を通して、より多くの市民が磐田市議会に関心を持っていただければと思います。



27年度から議会だよりのリニューアルについて広報広聴委員会で協議を重ね、ようやく新しい議会だよりを発行することができました。今までよりも見やすく、みなさまに「読んでみたい」と思っていた紙面づくりを心掛けましたが、いかがでしょうか。これからも、より読みやすい議会だよりとなるよう、取り組んでいきます。

【広報広聴委員会】

- 委員 長：松野正比呂
- 副委員長：細谷修司
- 委員：草地球昭、芦川和美、高梨俊弘、小野泰弘、山田安邦